

幼児教育センター「ことばの教室」から、ことばや正しい発音を促す遊びを紹介していきます。ぜひお家の方も一緒に楽しみながらやってみてください！

～吹く力・吸う力をつける遊び～

正しい発音のためには 舌・のど・頬・あご・唇など、口全体の筋肉の機能と協調運動が必要です。これらのことばを話す基礎となる力をつける遊びのひとつとして「吹くこと・吸うこと」を楽しくお家でしてみませんか？

(吹く遊び) 笛・ハーモニカ・吹きもどし・風車・シャボン玉・タンポポを吹く など
(吸う遊び) ハーモニカ・ストローで水分を飲む
(さらさらなもの・ヨーグルトジュースなど少しロミのついたもの)

「そーっと」や「勢いよく」といった力加減や、口にくわえるものは、噛まずに上下の唇ではさみ続ける力が必要です。いろいろな吹く動作・吸う動作を行うことで、発音器官も育っていきます。
*いずれも保護者の方が付き添い、安全面には注意して行ってください。
シャボン玉は 誤って吸うこともあります。市販の粒入りジュースなどはつめる原因にもなる可能性があります。無理はせず、年齢や口の機能の発達を考慮の上、行ってください。

～乳幼児期の育ちを考える～

『非認知能力ってなあに？』

この言葉を聞かれた事がありますか？
就学前の子ども達につけたい能力と言われていきます。小さい時の社会性情動的発達が子どもの将来に大きく寄与している事を学者（ノーベル経済学賞）が証明しました。経済学の観点で年収や仕事の成功に差が出るのを明確に示したのです。世界はその結果に揺るぎます。育てる子どもの方向性がここで明確になったともいえます。

日本も国際学力調査で測定される能力の大事さから「育みたい資質・能力」として幼稚園教育要領と保育所保育指針に盛り込みました。

難しい話ですが、現場で関わる職員は子どもに必要な力だと考え、長年保育に取り組んできたものです。知識がたくさん増えても現実の生活に活かせなければ意味がありません。『学びに向かう力や姿勢』、ずっと『生きる力』と呼んでいた基礎の力を人格形成の大事な時期に育んでいく事が大切なのです。

非認知能力とは

- ◎感情のコントロール・自尊心・自信
- ◎人と関わる力・他者・敬意・思いやり
- ◎目標の達成・自己コントロール・忍耐力・情熱

↓

上から自分・他者・社会の三つの社会性を育てます。
情動的発達・心情・意欲・態度を育てます。
～次号は具体的にお話していきましょう～

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。
夢と希望のもてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
電話 0797-71-1141(市役所)
0797-77-2132(直通)
FAX 0797-71-1891
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。